



共通テストへラストスパート！

共通テストまで残り29日となりました。「現役生は、東校生は、最後まで伸びる！」を信じ、自分の可能性に挑戦してください。冬休みは、全教科のレベルを上げる最後の機会です。質も量も大事、計画的な時間の使い方が問われます。不安な気持ちは、受験生ならば誰にでもあります。何とか、このハードルを越えてください。そのために、必要なことをまとめました。

1 戦略的に学習を進める

共通テストは、国公立大学においては、一次試験の意味合いです。多くの大学が、一次+二次の総合点で合否を決定します。とすれば、得意教科よりも、不得意教科の方が伸び代が大きいかもしれません。また、英数国に比べ、理社は速効性がある部分もあります。得意教科の調子を落とさないことに加え、総合点から考えて力を入れる箇所を考えるという戦略が大切です。

2 体力の保持に努める

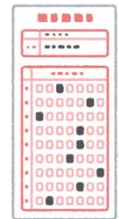
何と言っても、受験は体力がものを言います。その中には、モチベーションといった精神力も含まれます。万が一、体調を崩した場合には、思い切って体を休めることです。とにかく、共通テスト当日に万全であるよう努めて下さい。

3 生活リズムについて試験を意識する

平日、休日の学習の開始、終了時間を意識して生活していますか。共通テストの1時間目の開始時間は9時30分。ここに合わせた生活リズムを作れるか、学力にはこれらの行動力も含まれます。

<共通テスト直前・直後の日程>

1/4 (木)・5 (金) 共通テストプレテスト 12 (金) 激励会 直前指導
13 (土) 共通テスト 1日目 (社会・国語・英語) 14 (日) 共通テスト 2日目 (理科・数学)
15 (月) 自己採点日



<令和6年度国公立大入試の日程>

12月 冬季休業中 三者面談……ここで出願先候補を決定し、各自で「願書の取り寄せ」・「宿泊手配」
1/13 (土)・14日 (日) 共通テスト → 15 (月) 自己採点 ……採点結果を分析に出す
～21 (日) 出願検討会議・面談 → 一般選抜の「出願先 (前期・後期 (中期) 日程)」を決定
22 (月)～2/2 (金) 一般選抜 (「二次出願」) 出願期間 *全日程を同時に出願。出願後の変更不可
2/25 (日)～ 「前期日程」試験
→ 3/1 (金)～10 (日) 前期日程 合格発表 *前期日程合格者入学手続き (15 (金) まで)
3/8 (水)～ 「中期日程」試験 12 (火)～ 「後期日程」試験
→ 20 (水)～24 (日) 「後期・中期日程」合格発表 *後期・中期日程合格者 入学手続き (27 (水) まで)
*受験大学が定員に満たなかった場合、3/28 (木)以降に「追加合格」の連絡が来る可能性がある

1・2年生 進路について考え、行動しよう

冬休みは、1、2年生にとっても、進路目標達成へ向けて大事な時間です。その際の留意点についてまとめてみました。

1 進路に関する情報を自分で収集する

まずは、大学の学部、学科について、知識を持っておく必要があります。希望の職業から学部、学科を決めるのが普通ですが、やりたい方向というもので良いと思います。それは、学習内容だけでなく、学生の生活状況、卒業後の状況など、多岐に渡ります。その際、一つの大学でなく、複数の大学を比較しておくことが大切です。

また、大学入試のしくみを知ることも大切です。これから戦う相手の情報を知っておけば、その戦いが有利になります。しかも、その相手は、期日がほぼ確定しているの、準備が立てやすいはず。戦うとは言いましたが、学力が増強することは、

本来「嬉しいこと」です。日頃の勉強に、分かる喜びを得ようとする姿勢も大切です。

2 進路希望や学費について保護者と話す

保護者に自分の考えを伝え、また、保護者の意見も聞いておきましょう。また、進路決定のために、経済的な理由は避けて通れません。じっくり話す時間をとってみてください。



CAPRICORN

3 受験勉強に本腰を入れる

2学年は、全国的に「3年0学期」に突入していると言われます。これは、本格的な受験勉強を始める時期であることを示しています。第2回進路希望調査の結果を見ると、現1、2年生は国公立大学の進学希望者の割合が、例年より多い状況ですが、学習時間を見ると、まだ、これからという生徒が少なくないというのが現状です。日頃の課題や定期考査の学習だけでなく、**大学受験へ向けた計画的な学習**を心がけましょう。ただし、この計画は、**長期スパン**、**中期スパン**、**短期スパン**で考えておくべきで、常に修正を加えていけば良いということになります。

1学年は、高校の生活に慣れてきたとは言え、学習時間にはまだまだ課題があります。日頃の課題は余裕を持って終え、**プラスα**として何をやるかという**視点**、**姿勢**が大切です。

いずれにせよ、模試の結果を受け入れて、自分の現在の状況を正しく理解し、具体的な行動を起こしましょう。

<今後の全国模試の予定>

模試を今後の勉強の計画に組み入れ、模試で勉強の成果を確認しておきましょう。

1学年	1/12 (土)	1月進研記述模試 (英数国)
2学年		
①	1/12 (金)・13 (土)	1月進研記述模試 (5教科)
②	2/16 (金)・17 (土)	2月進研大学入学共通テスト模試 (5教科)



職業観育成講話

11/10 (金) に、9講座13名の講師の方々をお迎えし、1年生向けの講話がありました。

第一部は全体会で、小体育館にて、「働くために必要な学び」というテーマで、5人のパネラーの方々にお話しいただきました。第二部は分会会で、生徒の希望により、9講座に分かれて講義いただきました。また、生徒の皆さん、講師の方々の感想の主なものをあげてみました。大学のその先、「働くこと」、「生きること」への気持ちを新たにすきっかけとなって欲しいところです。

NO	分野	事業所名	講師 *は、第一部パネラーもお願いしました
1	経営・金融	郡山信用金庫	*志田典子様
2	建設・建築	矢田工業株式会社	成田英樹様
3	製造・研究開発	AGCエレクトロニクス株式会社	朝倉哲様 本田宏之様
4	消防・警察	郡山広域消防組合郡山消防署	*山口佳那子様
5	地域活性化	まざっせ KORIYAMA	次田喜正様
6	環境政策	環境省裏磐梯管理官事務所	*猪股ひかり様
7	歴史文化	須賀川市立博物館	*菅野和恵様
8	IT関連	福島コンピュータシステム株式会社	柳沼敏幸様 森羊平様 野崎拓也様 清野朱音様
9	地方公務員	福島県環境創造センター	*西原聖礼菜様

<生徒の皆さんの感想>

- ・漠然としていた将来への考えが少しまとまった
- ・講師の皆さん全員がおっしゃっていたことは「チャレンジ」、「いろいろな体験を積む」
- ・誰かの役に立ちたいと思うことができるようになりたいと思った
- ・何事にも興味や関心を持ち、失敗を恐れず取り組んでみるのが大切だと分かった
- ・福島県の環境保全、そして持続可能な社会をつくるために、イベントや企画をたくさん実施していて、自分も受けてみたいと思った
- ・人が喜ぶとうれしいというやりがいも共通していた。



<講師の方々の感想>

- ・①改善すること、②追求すること、③挑戦することを私も大切にしていきたい
- ・日頃から何をすれば相手が好きなのかなどを考えて行動し、選択肢を広げるためにたくさん勉強することを心がけたい
- ・働くことを手段にすると楽しいことも多く続けられることが大切
- ・高校生や大学生などの学生時代はほんの一部であるから、たくさん経験を積み、人との関わりを大事にすると良いというお話が印象に残った
- ・企業で一番大切なことは、存在し続けるということが分かった
- ・真剣に受講していた
- ・興味を持ってもらえたか心配である
- ・真面目な生徒さんが多い
- ・とても熱心に話を聞いてくれていた
- ・しっかりと聞いてくれて嬉しかった
- ・学業と部活動とバランスよく取り組むことができる学校である
- ・反応は悪くなく、メモを取ってくれていたのが好印象であった
- ・皆さん、真面目だった